

息抜きの散歩道

データベース追加！

1

250文字ブックレビュー

2,3

ライブラリ
サポーターから

ビブリオバトル⁴

貸出ランキング

LCセンター
利用のコツ

特集 データベース追加しました！

従来の「[閻蔵Ⅱ](#)」「[JDreamⅢ](#)」「[CiNii](#)」に加え、学内から利用できるデータベースがぐんと増えました。レポート作成や就活など目的によって使い分けて情報達人をめざしてください！各データベースはLCセンターのホームページ内の「[情報検索](#)」からご利用になれます（学内LAN接続が必要です）。

理科年表プレミアム

大正から現代までの自然科学データベース。エクセル加工に適したCSVデータのダウンロードが可能。レポート作成などにご活用ください。（アクセス数：無制限）

LE CORBUSIER PLANS ONLINE

建築家ル・コルビュジエの業績を検索・閲覧できます。利用には学内メールアドレスと登録が必要です。（アクセス数：無制限）

日経各紙や企業情報のデータベース。就活はもちろん、授業や統計などにご活用ください。（同時アクセス数：5）



大型事典のほかに専門辞書、叢書、雑誌など50種以上を検索・閲覧できます。語学や調べものに便利なツールです。（同時アクセス数：1）

JapanKnowledge Lib

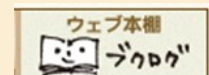
国内で出版された化学の専門書・便覧・辞典など合計147冊を統合的に検索し、閲覧することができます。（同時アクセス数：無制限）

化学書資料館

特集展示 LCセンター2階

「先生と先輩がすすめる本」第4弾 展示期間：10/12(月)~11/7(土)

今回の250文字ブックレビューの紹介図書や先輩のおススメ本を展示。
あの先生はどんな本を読んでいるの？気になった本を読んでみてください。



LCセンターのブログもみてね。

開館カレンダー

10月 October						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

12日(体育の日): 授業日
23日: 特別研修日/通常開館
31日: 大学祭期間/短縮開館

11月 November						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2・4日: 大学祭期間/短縮開館 3日(文化の日): 閉館
23日(勤労感謝の日): 閉館
27日: 学生総会/通常開館

12月 December						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

23日(天皇誕生日): 授業日
26日: 冬休み開始(～1/5)
26日～1月5日: 大学一斉休館/閉館

2016年 1月 January						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

11日: 成人の日 15日: センター試験準備/短縮開館
16・17日: センター試験/閉館 22～30日: 秋季試験

通常	通常開館日	9:00～20:30	午後	午後開館	13:00～17:00
短縮	短縮開館日	9:00～17:00	閉館	閉館【日曜日・祝祭日・本学休業日】	



250文字ブックレビュー

もし君に恋人がいなかったとしても、例え君に友だちが一人もいなかったとしても、本さえあれば淋しくはない。
LINEを切って、さあ、書棚から一冊の本を取り出そう！

『イギリス人アナリストだからわかった日本の「強み」「弱み』 デービット・アキンソン /著 講談社/刊

361.42

A 94

配架場所：4階

仕事などを通して日本の社会を鋭く観察し、これまであまり知られていない、日本の「強み」と「弱み」を述べています。例えば、日本の優秀な労働者は「強み」ですが、一人当りの生産性が低いという事実があります。この低い生産性は、「数字」を重視しない経営者という「弱み」に原因があると指摘しています。今よりもっとグローバル化が進むと考えられる社会の中で活躍することが期待される皆さんが、日本の「強み」と「弱み」を認識し、「弱み」を克服して、他国に負けない日本を築き上げるためにも、本書を参考にしたいと思えます。

梅崎 栄作（機械工学科）

『情報の「捨て方』 成毛 眞/著 角川書店/刊

002.7

N 53

配架場所：3階

私たちは周りには非常に多くの情報が溢れています。しかし、その量があまりにも多過ぎるため、自分が触れる情報を選ぶ必要があります。この本のタイトルには捨て方とあるので、最近流行りの断捨離を意識しているのかもしれませんが、不要な情報はシャットアウトし、質の高い情報だけに触れるようにするために、著者が実践している方法が書いてあります。この本を読んで、自分にできる情報との向き合い方や取捨選択のやり方を見つけることにより、情報の大海で行き先に迷ったり溺れることなく、日々の生活や知的活動ができるようになれば良いと思えます。

高瀬 浩史（情報工学科）

『人生を決めた15分 創造の1/10000』 奥山 清行 /著 講談社 /刊

501.8

O 54

配架場所：5階

筆者の奥山氏は学生の時から海外に飛び出し、GMやボルシェ、フェラーリといった欧米の自動車会社で開発を手掛けてきたが、現在は山形に会社を構えて活躍している。山陽新幹線は氏の最新の仕事だ。著者は工業デザイナーとしての自らの成長の理由は、困難に立ち向かう意志と、未来の自分を創造し行動する力にあると論じる。実績とリンクするその言葉は説得力があり、世界に飛び意欲を持つ若者であれば背中を押されるだろう。氏自身のスケッチや作品の写真が豊富に掲載されており、その巧なアイディア展開と明快な表現力もデザインを志す者にとっては必見だ。

大島 康彰（機械工学科）

『手紙』 東野 圭吾 /著 文藝春秋 /刊

913.6

H 55

配架場所：8階

生きるということ、人について、深く考えさせられる書である。東野圭吾と聞くと、ガリレオシリーズを連想する人が多いと思えます。しかしこの「手紙」はそれらとは全く異なる趣の、非常に重いメッセージを読者に投げかけます。弟の学費を得るために強盗殺人を犯した兄と、その弟の生き様が書かれています。罪を犯した者、被害者家族、そして犯罪者を家族に持つ者、それらに関わる者の、それぞれの心情が読者に伝わります。世の非情さを痛感させられ、人のこころの醜さ、そして許すとは？を考えさせられます。あなたは本書の最後の兄の手紙を読み、何を思いますか？あなたはこの書を読んで何を感じましたか？ぜひ社会に出る前に読んでほしい一冊である。

福田 めぐみ（創造システム工学科）

『NASAより宇宙に近い町工場 僕らのロケットが飛んだ』 植松 努 /著 Discover 21 /刊

538.93
U 41

配架場所：6階

北海道の赤平市という小さな町にパワーショベルに付ける特殊なマグネットを製造する町工場がある。著者は子供の頃から抱いていた宇宙への夢を実現すべく本業以外にロケットを開発するようになり、そして今、この町工場にはNASAをはじめとする世界中の人たちがやってくるようになった。「どうせ無理」と失敗を恐れるあまり、自ら行動を起こさずに諦めてしまう人は多い。「どうせ無理」から「だったらこうしてみたら」へ。本書は、諦めずに前向きにチャレンジすることについて考えさせられるとともに熱い思いが伝わってくる一冊です。

竹村 暢康（電気電子工学科）

『FabLife —デジタルファブ리케이션から生まれる「つくりかたの未来」』 田中 浩也 /著 オライリージャパン /刊

504
Ta 84

配架場所：5階

パーソナル・コンピュータ、インターネットに続く技術革命として「パーソナル・ファブ리케이션」、つまり「工業の個人化」が注目されています。これまで高価でとても個人では利用できなかった3Dプリンターのような機材が低価格で流通し、さらにデータや作り方、応用例など豊富な知識が共有されています。その結果、これまで一人では作ることはできなかったものが個人レベルで作れるようになりました。本書では、「（ほぼ）なんでもつくる方法」が紹介されていますので、何かを作りたいと思っている方は是非読んでみてください。

大橋 裕太郎(情報工学科)

『惜櫟荘だより』 佐伯 泰英 /著 岩波書店 /刊

914.6
Sa 14

配架場所：8階

惜櫟荘は1941年に建てられた岩波書店の創始者岩波茂雄の別荘で、建築家吉田五十八の設計による名建築です。たまたまその隣に仕事場を構えた著者は、私財を投じてこの建物を譲り受けて保存修復を行うこととなります。本書では、解体・修復を通して施主のこだわりと建築家の細部に至る創造性、そして職人の高度な技術に出会い魅了されていくようすとともに、建物を後世へ受け継ぎたい思いが綴られています。また、著者の若き日のスペインでの思い出なども並行して記され、ひとつの建物が場所と時間を横断してつくりだす物語が描かれています。

足立 真(生活環境デザイン学科)

『猫と庄造と二人のをんな』 谷崎 潤一郎 /著 新潮社 /刊

913
Ta 88

配架場所
1階保存書庫

猫好きにはたまらない一冊。猫を溺愛し、猫に“飼われている”男、猫に嫉妬し追い出そうともくろむ妻、猫を引き取って男の関心をどうにか引きたい元妻。各々が猫をめぐる必死になり、痴態を演じる姿は滑稽だ。この三名が右往左往する一方で、猫のリリーは何も語らず、自由気ままに振る舞う。猫のツンデシな性格を描くなら谷崎の右に出る者はいないだろう。またこの作品には、谷崎の哲学「愛とは“隷属”にほかならない」が描かれている。支配・被支配の関係がなくなった時、はたして人はどうになってしまうのだろう。

廣田 純子(共通教育系・英語)

『前に下がる 下を仰ぐ』 山口 晃 /著 青幻舎 /刊

723.1
Y 24

配架場所：7階

著者は我が国現代美術のトップランナー。48才。テレビ番組「情熱大陸」で紹介されたことがあるのでご存知の方も多数おられることでしょう。此の本は、2015年の水戸芸術館現代ギャラリーに於ける個展「前に下がる 下を仰ぐ」の展覧会図録と云った体裁をとっています。案内役としてイケメンの作者自身も登場していますが、自身がモデルを務めた理由は、本職のモデルをつかうと費用が高むからとのこと。油彩、水彩、墨、オブジェ、漫画風デッサン、紙ツイッター、となんでもあり。なんぼ眺めていても飽きません。ジツニ、オモシロイ！

匿名希望

LCセンターから

ライブラリサポーター活動報告

7/10 (金)第5回ライブラリカフェを開催

今回は、石原先生（本学情報工学科）に、「西寧の（シーニン）の日本人」というテーマでお話し頂きました。参加者からは旅の経緯や中国事情について活発な質疑応答があるなど、コーヒー片手に終始なごやかな雰囲気で行われました。ライブラリカフェの運営は、「学生ボランティア」ライブラリーサポーターが行っています。2年前の秋より活動しており、現在のメンバーは5名です。



6月より、公式Webサイトを立ち上げました！
こちらもご覧になってみてください。
⇒「星空のしおり」 <http://nit-library.esy.es/>

ビブリオバトル開催！

5/28（木）カフェテリアにて、「知的書評合戦ビブリオバトル」を開催しました。出場者5名による本の紹介後、観覧者の投票でチャンプ本を決定する催しです。初代チャンプに輝いたのは機械工学科の八木宜明くん。参加型のレビューで観戦者を引き込みました。八木くんには賞品として「貸出冊数無制限」「マルチメディア教室持ち込みDVD鑑賞券」などが贈られました。



【速報】選書ツアーを行いました！

9/17(木)大宮そごう三省堂書店にて、学生による選書を実施。詳細は特集展示（10/12～11/7）をチェック！

貸出ランキング

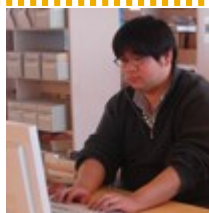
集計期間：2015年4月1日～2015年9月30日

- 1.高電圧工学 / 大木正路 著 槇書店 (10回)
- 2.ステッピングモータのマイコン制御 / 見城尚志, 菅原晟 著 総合電子出版社 (9回)
- 3.ステッピングモータの使い方 / 坂本正文 著 オーム社 (7回)

アルバイト院生の声

LCセンター
利用のコツ
教えます！

機械システム工学専攻
2年 中島 一



LCセンターでは専門書はもちろん最新雑誌など多くの本を取り扱っています。他にも映像学習コーナーでは映画なども見ることが出来るなど、学生にはとても魅力的な設備が備わっている図書館です。私も学部生の時は、空き時間があると良くLCセンターを利用し、調べごとをしながら講義の課題を行ったり、映画を見て時間を潰したりしていました。皆さんも気軽にLCセンターを利用しに来て下さい。

『青塔』秋号を発行しました。



秋号は、大学生生活や研究テーマ、趣味などを、新任の先生方を中心に寄稿いただきました。LCセンター内で配布しています。ご自由にお持ちください。

日本工業大学LCセンターニュースレター「息抜きの散歩道」 第4号 発行日/2015年10月1日
編集・発行/日本工業大学LCセンター 〒345-8501埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1 <http://lib.nit.ac.jp>